

～八森小学校「エンジョイ白神山地」と共に学び合う～



写真2：この岩が9千万年前に生まれたの?!
 撮影者：八森小学校教諭 秋元裕子氏



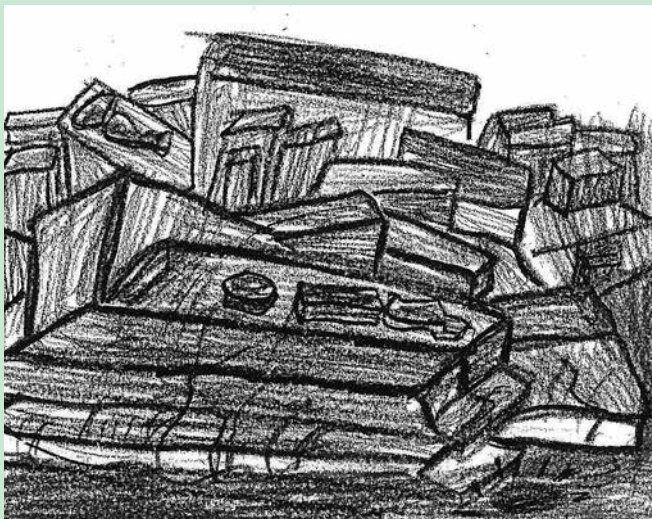
写真1：レインボーロックを観察中の子供たち
 撮影者：八森小学校教諭 秋元裕子氏

「レインボーロック」発見!!

八峰町にある5つの小・中学校で今年度は各校とも八峰白神ジオパークにかかわる出前授業や野外学習をしました。ここでは八森小学校で実施した「エンジョイ白神山地」にゲストティーチャーとして参加したときの様子をお知らせします。

この野外活動には3年生～6年生までの子どもたちが参加していて、6コースに分かれています。その1つに「火山コース」があります。3回目は真瀬川河口ちかくの「海の二ツ森」海岸で行いました。ここには2回目で観察した安山岩（小糠森を作っている岩石）とあまり似ていない安山岩が広がっています。ハンマーで叩くととても硬いし（写真1）、第一、石の色がカラフルなのです。まるで虹みたいだということで子どもたちはレインボーロックと名前をつけました。

それもそのはず、小糠森の石は今からほぼ500万年前にできたのに対し、レインボーロックは今から1000万年以上前に出来たものです。さらにレインボーロックは海水と結びついていろいろな鉱物が出来ています。次の文とスケッチは熊谷翼くんが5年生のとき書いた「教えるよカード」です。



スケッチ1

今日はませ川の辺りの海に行きました。でも、前の小ぬか森の岩とちがって色がちがったり、形が平らなのがありました（スケッチ1）。あと、前のあんざん岩は光っていたけど、今日の岩は光っていませんでした。それでちがう岩だと思ったけど、なんと同じ岩だったのでびっくりしました。さらに七色の岩がたくさんとれて、火山コースの人たちは「レインボーロック」という名前にしました。とても楽しかったです。